

2026 年 10 月 19 日

**AGC Biologics、Flen Health 社の糖尿病性足潰瘍向け
次世代酵素治療薬候補の開発・製造を受託
－組換え酵素のプロセス開発・GMP 製造を支援－**

AGC 株式会社（本社：東京、社長：平井良典）のバイオ医薬品 CDMO 事業を担う AGC Biologics は、ベルギーのバイオ医薬品企業 Flen Health 社^{*1}（以下、Flen Health）から、糖尿病性足潰瘍（とうにようびょうせいあしかいよう）向け次世代酵素治療薬候補に使用する組換え酵素のプロセス開発および GMP^{*2} 製造を受託しました。

AGC Biologics はドイツ・ハイデルベルク拠点において、ラクトペルオキシダーゼおよびグルコースオキシダーゼのプロセス開発および製造を担い、Flen Health が計画する米国での IND 申請および第Ⅱ相臨床試験の実施を支援します。

糖尿病性足潰瘍向け次世代酵素治療薬の開発を推進

世界では 2024 年時点で成人の約 9 人に 1 人に当たる約 5 億 8,900 万人が糖尿病を抱えており、今後、有病率もさらに上昇すると予測されています。糖尿病性足潰瘍は、糖尿病に伴って足に生じる慢性創傷であり、糖尿病患者の約 5 人に 1 人以上が生涯に発症する可能性があると考えられています。依然として有効な治療選択肢が限られており、新たな治療法の開発が強く求められています。

Flen Health は、こうした医療課題に対し、同社が欧州を中心に展開する酵素とアルギン酸を組み合わせた創傷治療用ゲル「Flaminal®」をベースに、組換え酵素を用いた次世代治療薬の開発を進めています。

フィージビリティプログラムを経て GMP 製造へ協業を拡大

AGC Biologics は 2025 年 7 月から Flen Health とのフィージビリティプログラムに取り組み、ハイデルベルク拠点でラクトペルオキシダーゼおよびグルコースオキシダーゼの製造工程に関する技術移管、培養・精製プロセスの開発、分析法の導入を進めてきました。

今回の受託により、協業は次の開発段階となるプロセス開発、スケールアップおよび GMP 製造へと発展し、今後 100 リットルおよび 1,000 リットルスケールで組換え酵素を製造する予定です。

AGC Biologics 社 ハイデルベルグ拠点



ハイデルベルグ拠点における開発の様子



【本件に関するお問い合わせ先】

AGC 株式会社 広報・IR 部 [お問い合わせフォーム](#)

AGC グループは、中期経営計画 **AGC plus-2026** において、製品・技術で創出する 3 つの社会的価値を定義しています。このうち “Well-being” では、生活や医療に必要な製品・サービスを安定的に提供し、安心・安全で健康な暮らしに貢献することを目指しています。ライフサイエンス事業では、バイオ医薬品をはじめとする多様なモダリティに対応した CDMO サービスを通じて、お客様の開発初期段階から商業生産までを支援し、世界の人々の健康に貢献していきます。

〈注釈〉

*¹ Flen Health 社は、創傷治療分野における未充足ニーズに応える革新的な治療法の開発に取り組むバイオ医薬品企業です。2000 年に設立され、ベルギーのコンティヒに本社を置く同社は、25 年以上にわたり、創傷および皮膚治療ソリューションを欧州および世界 40 か国以上で提供しています。現在 Flen Health 社は、これまで培ってきた知見と経験を生かし、独自の新規治療法を米国市場へ展開する取り組みを進めています。詳細は Flen Health 社のウェブサイトをご覧ください。

www.flenhealth.com

*² GMP : Good Manufacturing Practice の略。医薬品の品質基準に基づき、原料受入から製造・出荷までの工程全体を管理し、品質と安全性を確保する基準。

【本件に関するお問い合わせ先】

AGC 株式会社 広報・IR 部 [お問い合わせフォーム](#)